

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-2 県産品の販路開拓・拡大の支援
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	しまねブランド推進課長 日下 純子	電話番号	0852-22-6858
----------	-------------------	------	--------------

事務事業の名称	しまね食品産業総合支援事業		
目的	(1) 対象	県内食品産業事業者	
	(2) 意図	食品産業をプロセスに応じて支援し、個々企業の競争力を高める	
事業概要	○グループワーク及び専門家の個別指導により商品を実践的に改良する。 ○衛生・品質管理に関する研修会の開催、安全衛生管理等の計画（HACCPプラン）の策定を支援する。 ○首都圏等で開催される食品展示商談会へ県ブースを出展する。 ○楽天株式会社と連携し、Web物産展、ネット通販に関するセミナーや勉強会を開催する。 ○営業力強化専門員を配置し、相談・指導・助言により営業力を強化する。 ○雑誌ライターや情報発信力のある著名人等を招へいし、島根の食の情報を発信する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	しまね県産品販売パートナー店における県産品販売額	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義	実績値（前年比+5%で目標設定）	目標値					1,272	百万円
			実績値				1,211		
			達成率						
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義		目標値						
実績値									
達成率								%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	56,372	67,419
うち一般財源(千円)	56,372	67,419

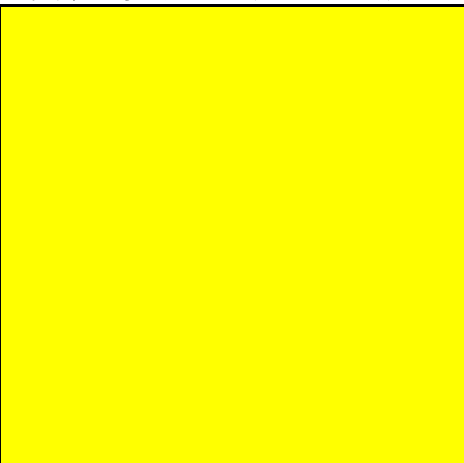
4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○平成24年工業統計における県内食料品製造業及び飲料製造業の状況
 事業所数 384所/1,324所（構成比29.0%）、従業員数 6,955人/40,959人（構成比17.0%）、出荷額 826億円/9,788億円（構成比8.4%）
 ○同1事業所あたり食料品製造業の付加価値額（規模別比較・島根/全国）
 社員数4~29人=島根3,959万円/全国5,742万円（全国比69%）、社員数30~299人=島根36,414万円/全国51,784万円（全国比70%）
 ○同1従業員あたり食料品製造業の付加価値額（規模別比較・島根/全国）
 社員数4~29人=島根812万円/全国1,286万円（全国比63%）、社員数30~299人=島根1,518万円/全国2,227万円（全国比68%）

6. 成果があったこと（改善されたこと）



7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ○全国の食料品製造業及び飲料製造業と比較して、規模や付加価値生産性が低い。
 ○規模別に比較しても、1事業所あたり・1従業員あたりの出荷額、付加価値額が低い状況にある。
 ○日本の人口が減少する中において、メーカーの販売競争は激化している。

②困っている状況が発生している「原因」
 ○商品開発力、加工製造力、衛生・品質管理力、販売営業力といった点が総じて低い。
 ○労働集約型の企業が多い。
 ○施設設備が老朽化しているところが多いが、コストの面などから新規投資ができない企業が多い。

③原因を解消するための「課題」
 ○商品開発力、加工製造力、衛生・品質管理力、販売営業力などの強化が必要
 ○設備投資や経営革新などの取り組みが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

食品産業が抱える諸課題を、入口（商品づくり）から出口（販路拡大・情報発信）までのプロセスに応じて総合的に支援することにより、個々の企業の競争力を高め、収益の増加や経営の安定化、さらに県内食品産業の底上げを図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--